



老上西学区の健幸かるて（令和7年度版）

【令和7年12月作成】

草津市人とくらしのサポートセンター

地区担当保健師



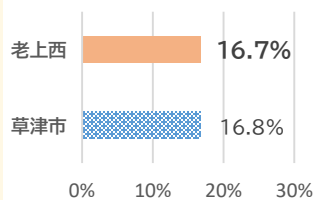
1.人口構成と世帯数(R7.4.30) ※市と比較して区分割合が高い項目に着色

年齢区分	0～14歳		15～64歳		65歳以上		計(人数)	世帯数
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
志津	2,482	17.4%	9,318	65.1%	2,505	17.5%	14,305	6,323
志津南	1,275	18.7%	4,012	58.9%	1,527	22.4%	6,814	2,585
草津	1,630	13.6%	7,604	63.4%	2,752	23.0%	11,986	5,817
大路	1,498	12.5%	8,043	67.1%	2,438	20.4%	11,979	5,748
矢倉	1,143	12.0%	6,107	64.0%	2,286	24.0%	9,536	4,489
渋川	1,283	13.4%	6,491	67.6%	1,827	19.0%	9,601	4,625
老上西	1,406	16.1%	5,471	62.7%	1,855	21.2%	8,732	3,467
老上	2,603	20.1%	8,258	63.7%	2,103	16.2%	12,964	5,823
玉川	1,307	10.5%	8,765	70.5%	2,354	18.9%	12,426	6,793
南笠東	735	9.5%	5,128	66.6%	1,836	23.8%	7,699	4,192
山田	929	11.9%	4,492	57.6%	2,380	30.5%	7,801	3,530
笠縫	1,546	13.8%	6,295	56.3%	3,337	29.9%	11,178	4,963
笠縫東	1,593	14.6%	6,466	59.4%	2,827	26.0%	10,886	4,916
常盤	642	13.3%	2,642	54.7%	1,549	32.1%	4,833	1,913
草津市	20,072	14.3%	89,092	63.3%	31,576	22.4%	140,740	65,184

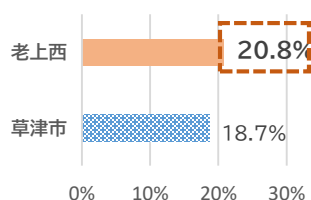
4.高齢者の状況

(※③は、40～64歳の第2号被保険者も含む)

①単身高齢者の割合(R7.4)



②介護認定率(R7.4)



③介護が必要となった原因で最も多い疾患(R1～R2新規申請者)

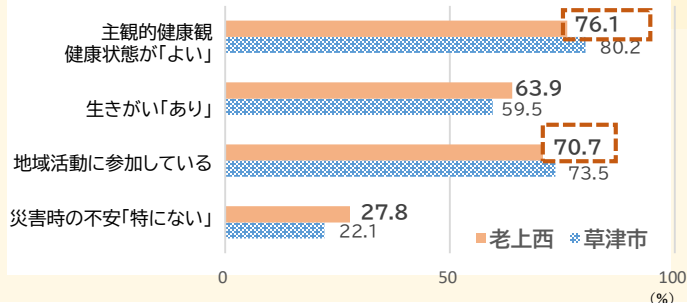
【要支援認定となった人】
高血圧症

【要介護認定となった人】
アルツハイマー型認知症
消化器がん



④介護予防・日常生活圏ニーズ調査結果(R4年度)

※対象65歳以上(要介護1～5の認定を受けていない方)

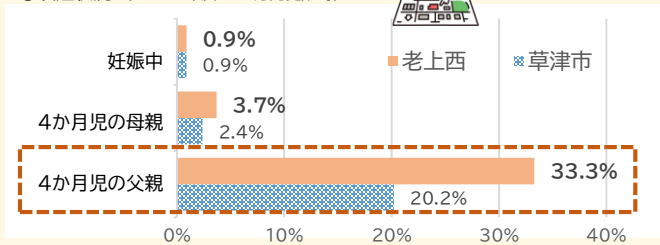


2.妊娠・出産・子育て(乳幼児健診問診結果)

①育児に対する今の気持ちに近いフェイススケールの割合(R6年度)

フェイススケール		1	2	3	4	5	6
1歳6か月児	老上西	53.7%	31.3%	11.9%	1.5%	1.5%	0.0%
	草津市	52.4%	30.4%	14.3%	1.4%	1.1%	0.3%
4か月児	老上西	81.1%	17.0%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%
	草津市	65.1%	26.7%	6.7%	0.1%	0.3%	0.2%

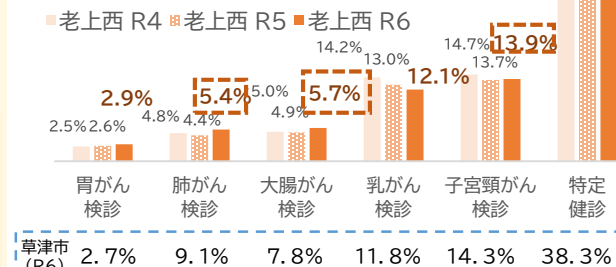
②喫煙状況(R5～6年度:4か月児健診時)



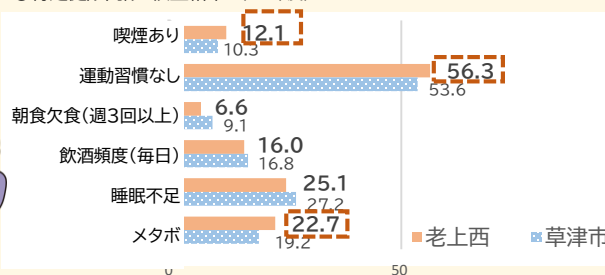
3.からだの健康・生活習慣

①市が実施しているけん診の受診率推移(R4～6年度)

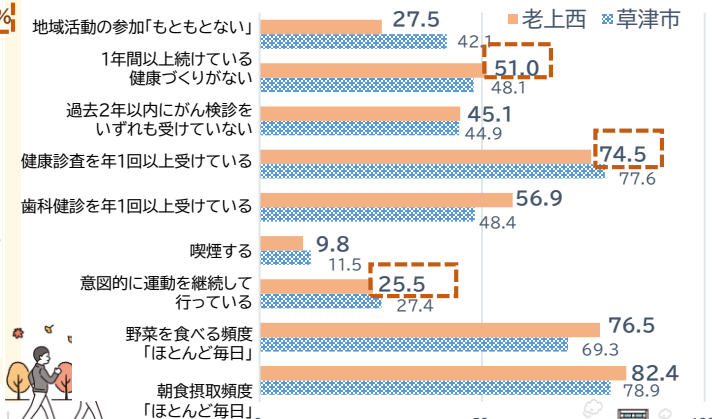
受診率については、市が実施しているがん検診および草津市国保加入者を対象とした特定健診の受診率です。



②特定健診問診・検査結果(R6年度)



③健康に関するアンケート調査結果(R4年度) ※対象18～74歳



5.地域資源(地区組織活動・社会資源等)

子育てサークル・拠点施設		4か所	スーパー	3か所
地域サロン		5か所	コンビニ	5か所
医療機関	医師：10か所	歯科：4か所	ドラッグストア	1か所
薬局	8か所	町内会	19	

地域の目指す姿(目標): 老上西学区の住民が、地域の中で役割をもちながら支え合い、主体的に健幸づくりに取り組むことができる。

地域の特性と健康課題

・高齢化率、単身高齢者の割合は市をやや下回っており、子どもや働く世代も多い学区になります。
・特定健診の受診率は市内で最も低く、各種がん検診の受診率も市を下回るものが多いです。
・介護保険新規申請の原因疾患は要支援認定が高血圧、要介護認定がアルツハイマー型認知症、消化器がん、生活習慣に気をつけることが重要になります。
また、認知症に関する困りごとを早期に相談できる意識づくりも必要です。

健康課題の解決に向けた取組方針・活動状況

・まちづくりセンターと連携し、おいにいずカフェで骨折予防やフレイル予防のための健康教育、健康測定を実施しています。あわせて地域包括支援センターなどの相談窓口の周知啓発も行っています。
・地域での支え合いを推進するため、関係機関等と連携し、課題解決に向けた協議を行っています。
・特定健診やがん検診受診の必要性について啓発も行っています。